

# 社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会 事業計画

## 基本方針

我が国の経済環境は未だ厳しい状況にあり、それに伴う雇用喪失は、家族機能の低下や貧困をもたらし、人と人とのつながりの希薄化や単身世帯の増加と相まって孤独死の増加など無縁社会が顕在化してきており、これらの問題を解決していく社会システムの構築が望まれているところ

です。

こうした中、地域福祉の中核的な推進機関である社会福祉協議会の役割はますます大きくなっていきます。そのため、行政をはじめ関係機関、民間諸団体等と一層連携を強め、きめ細かな地域福祉活動の推進とネットワークづくりを目指し、市民が健康で生きがいを持てる福祉社会の実現に向けて取り組んでいかなければなりません。このような考えを基に、地域住民の多様なニーズに対応し、信頼されるサービスの提供を行ってまいります。

介護保険・障害福祉サービス事業につきましては、民間事業所の増加による競争の激化等によりますます厳しい状況下にあります。引き続き「特定事業所加算」のとれる体制の整備を図りつつ、効率的な事業の実施により経営の安定を図りながら、研修体制を充実し、一層きめ細かな居宅サービスの向上に努めてまいります。

昨年年度開設した「障害者相談支援センターいちのみや」については順調に事業を実施しており、引き続き一宮市障害者自立支援協議会や他の関係機関と連携し、障害者の相談に応じ問題解決に取り組

んでまいります。日常生活自立支援事業につきましては、認知症高齢者、知的精神障害者等判断能力が十分でない方の金銭管理や書類等の預かりサービスの周知に努め、制度の積極的な活用促進を図ります。

でまいります。

一方、東日本大震災から1年が経過し、被災地における福祉ニーズは多様化してきています。がれきの撤去作業から始まり、個人宅の被災荷物の片付け、仮設住宅からの転居の手伝い、さらに心のケアなど、依然として被災地域外からの支援が必要とされている中、被災地の復興を図る支援活動を行ってまいります。

また、今年秋完成予定の一宮駅前ビルに総務課部門の移転を予定しております。駅という利便性を活かし、社会福祉の広報啓発や情報の発信

源となり、市民に身近な社協を目指すとともに、ボランティアセンター事業の拡充を図るほか、市民の安心を支える「相談支援」や「心配ごと相談」等、相談業務をますます充実し、地域福祉の増進を目指した諸活動を積極的に推進してまいります。

## 重点目標

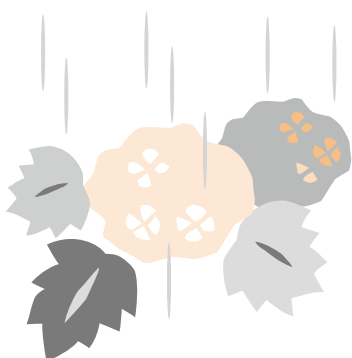
1. 支会事業・活動の充実と法人経営の安定化基盤の確立を図る。また、定期的に各支会が情報交換の出来る場を設けると共に、地区社協の先進地への視察等を通じ、支会活動の一層の活性化を図る。

2. 被災地支援として、若手県大船渡市内のみなし仮設入居者世帯への傾聴ボランティア訪問活動を実施する。

3. 日常生活自立支援事業では、利用者の増加に伴い処遇困難なケースも増加傾向にあり、職員の専門性の一層の向上に努め、福祉サービスの質の充実を図る。

4. 地域福祉の主要な担い手として期待されるボランティアの養成と活動の推進に努める。特に、青少年に対するボランティア意識の高揚と福祉教育の一層の推進を図る。

5. 介護保険事業及び障害福祉サービス事業について、引き続き特定事業所加算のとれる体制の整備を図り、質の高い介護サービスの提供に努める。

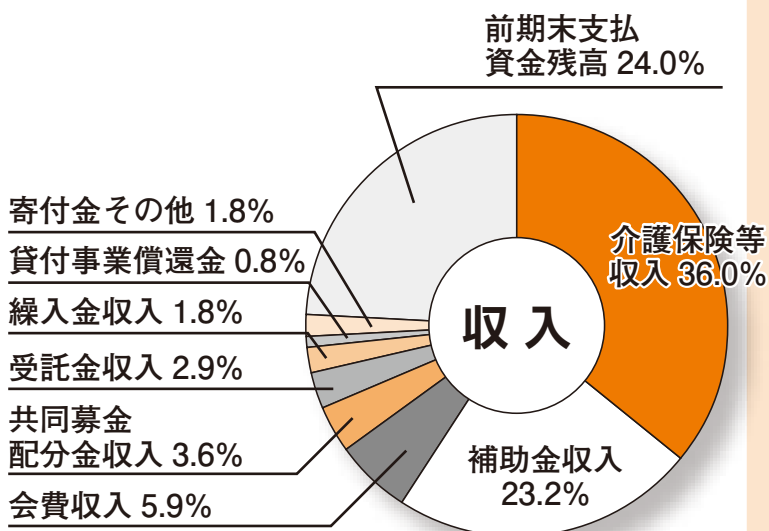


# 平成24年度 一般会計予算額 909,421,000円

## 収 入

(単位：千円)

介護保険等収入	327,196
補助金収入	211,177
会費収入	53,384
共同募金配分金収入	33,020
受託金収入	26,449
繰入金収入	16,446
貸付事業償還金収入	7,200
寄付金その他	16,729
前期末支払資金残高	217,820
合 計	909,421



## 支 出

(単位：千円)

居宅介護等事業	472,416
法人運営事業	197,676
居宅介護支援事業	75,972
ふれあいのまちづくり推進事業	55,653
共同募金配分金事業	45,235
資金貸付事業	14,183
ボランティアセンター活動事業	11,172
日常生活自立支援事業	10,090
地域福祉サービスセンター事業	8,449
県社協・一宮市受託事業	3,295
基金運営事業他	15,280
合 計	909,421

